

# 令和 2 年 度 第 1 回 埼玉県立近代美術館協議会

## 【 目 次 】

○ 令和元年度事業報告	P 1
1 常設展示事業	P 1
2 企画展示事業	P 4
3 美術作品収集事業	P 10
4 普及事業	P 11
5 美術館の利用促進事業	P 12
6 子ども向け事業	P 13
7 学校との連携	P 17
8 一般向け団体案内	P 18
9 ボランティア活動	P 18
10 「椅子」の有効活用	P 18
11 一般展示室の利用状況	P 19
○ 令和元年度入館者数一覧	P 22
○ 令和元年度決算の概要	P 23
○ 令和 2 年度事業実施状況	P 24
1 常設展示事業	P 24
2 企画展示事業	P 27
3 美術作品収集事業	P 30
4 普及事業	P 30
5 美術館の利用促進事業	P 31
6 子ども向け事業	P 32
7 学校との連携	P 36
8 一般向け団体案内	P 37
9 ボランティア活動	P 37
10 「椅子」の有効活用	P 38
11 一般展示室の利用状況	P 39
○ 令和 2 年度入館者数一覧	P 40
○ 令和 2 年度当初予算の概要	P 41

日 時：令和 2 年 8 月 2 7 日（木）午後 2 時～  
場 所：埼玉県立近代美術館 3 階会議室



# 令和元年度 事業実施状況

## 1 常設展示事業

### (1) MOMASコレクション（常設展）の開催

年度は4期に分け、多彩なテーマと切り口で収蔵作品を中心に一部借用作品も交えて企画性の高い展示を実施している。

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第1期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「セレクション： ウジェーヌ・ドラクロワから 新印象主義へ」</li> <li>○「山水から風景へ」</li> <li>○「自然の造形— 増田三男作品を中心に」</li> </ul>	59点	自 平成31年 4月20日(土)  至 令和元年 7月21日(日)  (78日間)	8,415人 1日当たり 108人  うち有料観覧者数 5,284人 1日当たり 68人
第2期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「セレクション： モネとかピカソとか」</li> <li>○「うっしと重なり—版画の諸相」</li> <li>○「小特集：バウハウス100年」</li> </ul>	99点	自 7月27日(土)  至 10月20日(日)  (76日間)	11,913人 1日当たり 157人  うち有料観覧者数 6,503人 1日当たり 86人
第3期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「セレクション： ドニとかフジタとか」</li> <li>○「近代日本画における中国」</li> <li>○「ゆるるかげ」</li> <li>○「アーティスト・プロジェクト #2.04 トモトシ」 (11/14~1/19)</li> </ul>	52点 (アーティ スト・プロ ジェクト :7点)	自10月26日(土)  至 令和2年 2月2日(日)  (76日間)	11,832人 1日当たり 156人  うち有料観覧者数 6,686人 1日当たり 88人

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第4期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「セレクション： シャガールとか佐伯祐三とか」</li> <li>○「サポーターズ・チョイス！」</li> <li>○「春陽会一旗揚げのころ」</li> </ul>	82点	自2月8日(土) 至2月28日(土) 開催期間は4月19日ま でであったが、コロナ 禍の臨時休館のため2 月28日に閉幕。 (19日間)	2,163人 1日当たり 114人  うち有料観覧者数 1,365人 1日当たり 72人

## (2) サンデー・トークの開催

MOMAS コレクションおよび特別出品の展示作品から毎回1点を選び、学芸員による解説を実施する。

解 説 作 品	実 施 日	参加人数
大野百樹《秋韻》	令和元年 5月16日(日)	17人
ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー 《イタリアの思い出》	6月9日(日)	20人
川合玉堂《高原秋晴》	7月21日(日)	16人
「バウハウス叢書」(編集：ヴァルター・グロピ ウス、ラスロ・モホリ＝ナジ)	8月11日(日)	25人
山本容子 《After-我々はどこから来たか?〈光の大地〉》	9月22日(日)	20人
正木隆《造形01-13》	11月17日(日)	11人
北野謙《「光を集めるプロジェクト」埼玉県立近 代美術館屋上から(東)2015冬至-2016夏至》 《「光を集めるプロジェクト」埼玉県立近代美術 館屋上から(西)2015冬至-2016夏至》	12月15日(日)	20人
関根伸夫《ストーンファニチュア》	令和2年 1月12日(日)	18人
日和崎尊夫《海球》	2月9日(日)	19人

(3) 「アーティスト・プロジェクト#2.04 トモトシ」の開催及び関連事業等

会期：11月14日 [木・県民の日] ～1月19日 [日]

現在注目を集めるアーティストを招聘し、館内の各所を展示スペースとしながら、より柔軟で魅力的な展示活動を実施。

「アーティスト・プロジェクト#2.04 トモトシ」関連事業

期 日	内 容	定 員	参加人数
12月 8日	トモトシ過去作品上映会	—	46 人
12月 8日	副音声としてのアーティスト・トーク	—	46 人
12月21日	トモトシ過去作品上映会	—	17 人
1月19日	トモトシ過去作品上映会	—	56 人

## 2 企画展示事業

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年5回展示した。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数
ブラジル先住民の 椅子	ブラジル北部のアマゾン河やシングレー川流域で暮らす先住民の人びとが作る、動物のフォルムをしたユニークな一木造りの椅子を資料映像とともに紹介し、独自の感性から生まれた造形に、人間の豊かな想像力の発露を読み取る展示構成とした。	92 点	自 4月6日 (土) 至 5月19日 (日)  (40日間)	5,529 人 1 日当たり 138 人  うち有料観覧者数 2,926 人 1 日当たり 73 人
May I Start? 計良宏文の越境するヘアメイク	ヘア&メイクアップのトップ・クリエイター計良宏文の展覧会。計良が新たに手掛けるプロジェクトの全貌を紹介するセクションを軸に、ヘア&メイクの概念を拡張し続ける仕事を通して、新たな視点でヘア&メイクを捉えることを試みた。	約 130 点	自 7月6日 (土) 至 9月1日 (日)  (52日間)	8,902 人 1 日当たり 171 人  うち有料観覧者数 4,107 人 1 日当たり 79 人
DECODE/ 出来事と記録 — ポスト工業化社会 の美術	1960年代末から70年代にかけての美術状況を、記録写真や資料との関係から検証した。近年国際的にも評価が高まっている「もの派」の中心作家である関根伸夫（埼玉県出身、1942-2019）の資料と作品、当館が多摩美術大学と連携して進めている「もの派アーカイブ研究」の成果報告、さらに「ポスト工業化社会の美術」を提示するためのアクチュアルな展示、以上の3つの柱を中心に構成した。	約 100 点 (資料・映像を含む)	自 9月14日 (土) 至 11月4日 (月)  (46日間)	4,202 人 1 日当たり 91 人  うち有料観覧者数 1,832 人 1 日当たり 40 人

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数
<p>ニューヨーク ・アートシーン</p> <p>ロスコ、ウォーホル から草間彌生、バス キアまで 滋賀県立 近代美術館コレク ションを中心に</p>	<p>第二次世界大戦後の美術 において注目を集めたニ ューヨークで繰り広げら れた、抽象表現主義、ネ オ・ダダ、ポップ・アート といった意欲的な動向は 世界の現代美術をリード した。その中には多くの日 本人作家も含まれている。 本展では、改修休館中の滋 賀県立近代美術館が所蔵 する日本屈指のアメリカ 現代美術コレクションを 中心に、戦後アメリカ美術 を概観した。</p>	100 点	<p>自 11月14日(木) 至 1月19日(日)  (52日間)</p>	<p>10,659 人 1 日当たり 205 人</p> <p>うち有料観覧者数 5,651 人 1 日当たり 109 人</p>
<p>森田恒友展 自然と共に生きて 行かう</p>	<p>熊谷出身の画家・森田恒友 (1881-1933)は、東京美 術学校で洋画を学び、雑誌 の挿絵などを手がけた後、 約1年間ヨーロッパに滞在 して、セザンヌに強く影響 を受けた洋画を制作。帰国 後は、日本の風景を洋画で 描くことに違和感を覚え、 身近な自然をとらえた清 澄な日本画を発表した。本 展は、当館で1991年に開 催して以来の大規模な回 顧展となり、自然を真摯に 見つめ続けた画家の軌跡 を辿った。</p>	約250点 (資料を 含む)	<p>自 2月1日(土) 至 2月28日(金) ※  (25日間)</p> <p>※開催期間は3月22日 までであったが、コロ ナ禍の臨時休館のた め2月28日に閉幕。</p>	<p>2,742 人 1 日当たり 110 人</p> <p>うち有料観覧者数 1,437 人 1 日当たり 57 人</p>

## (2) 関連事業等の開催

企画展についての理解を深めるため、関連事業等を開催した。

### ア ブラジル先住民の椅子

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
4月14日 (日)	スペシャル・トーク 「メイナクの兄弟との出会い」	樋田豊次郎（東京都庭園美術館館長）	80人	47人
5月12日 (日)	スペシャル・ギャラリー・トーク 「三沢厚彦、埼玉でブラジルの動物たちと出会う」	三沢厚彦 (彫刻家・武蔵野美術大学特任教授)	30人	100人

### イ MAY I START? 計良宏文の越境するヘアメイク

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
7月12日 (金)	トークライブ	計良宏文×高崎卓馬 (株式会社電通 エグゼクティブ・クリエーティブディレクター)	80人	40人
8月18日 (日)	トークライブ	計良宏文×坂部三樹郎 (MIKIO SAKABE デザイナー)	80人	80人
7月15日 (月・祝)	ヘアメイクライブ【2回開催】	計良宏文	各回 50人	合計 110人
8月6日 (火)	ヘアメイクライブ【2回開催】	計良宏文	各回 50人	合計 120人
7月20日 (土)	計良宏文滞在制作	計良宏文	—	225人
8月3日 (土)	ギャラリーツアー	計良宏文×大浦周 (当館学芸員)	—	35人



ウ DECODE/出来事と記録ーポスト工業化社会の美術

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
9月14日 (土)	講演会「《位相ー大地》 という出来事」	小清水漸 (彫刻家) 聞き手：建畠哲 (当館館長) 梅津元 (当館学芸員)	100人	121人
10月27日 (日)	シンポジウム「出来事と 記録ー写真の使命ー」	登壇者：中嶋興 (映像作家)、 小泉俊己 (彫刻家・多摩美術大 学教授) 聞き手：平野到 (当館学芸員) 梅津元 (当館学芸員)	100人	90人

エ ニューヨーク・アートシーン

ーロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで  
滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
11月16日 (土)	ミュージアム・カレッジ2019 「20世紀アメリカの視覚表現」 ①「ニューヨーク・アートシーン 戦後アメリカ美術の展開と特質」	尾崎信一郎 (鳥取県立博物館 副館長)	100人	65人
11月23日 (土)	ミュージアム・カレッジ2019 「20世紀アメリカの視覚表現」 ②「ロスコ、コーネル、フレヴィン、 孤独への旅、あるいは恒星の 国アメリカ」	加藤有希子 (埼玉大学基盤教育研 究センター准教授)	100人	45人
11月30日 (土)	ミュージアム・カレッジ2019 「20世紀アメリカの視覚表現」 ③「ダンスとノン・ダンスの間：ジ ャドソン・グループとその周辺」	外山紀久子 (埼玉大学大学院人文 社会科学研究所教授)	100人	35人
12月1日 (日)	ミュージアム・コンサート 「ニューヨーク、 記憶の襞を辿る」	奥平真吾 THE FORCE SPECIAL	60席	82人

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
12月 7日 (土)	ミュージアム・カレッジ2019 「20世紀アメリカの視覚表現」 ④「ニュー・バウハウスからMITへ :G・ケペシュのアート&サイエンス」	井口壽乃 (埼玉大学副学長)	100人	32人
12月22日 (日)	ミュージアム・コンサート 「笛は魔術師 エネルギーがほとぼしる！」	山下Topo洋平(ケーナ) 茨木智博(オカリナ) 森 悠也(ピアノ)	60席	60人

オ 森田恒友展 自然と共に生きて行かう

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
2月16日 (日)	ミュージアム・コンサート 「彩り 魅せる ～トランペットで 奏でる音の風景」	佐藤友紀 (トランペット) 他	60席	58人
2月23日 (日)	レクチャー 「恒友をめぐる人と自然 —会津を中心に」	増渕鏡子 (福島県立美術館 学芸員)	70人	55人

(3) ギャラリー・トークの開催

より充実した鑑賞の機会とするため、担当学芸員による展示解説を実施した。

企 画 展	実 施 日	参加人数
ブラジル先住民の椅子	4月20日(土) 5月11日(土)	15人 26人
DECODE/出来事と記録 —ポスト工業化社会の美術	10月12日(土) 10月19日(土)	中止※ 20人 ※臨時休館のため

企 画 展	実 施 日	参加人数
ニューヨーク・アートシーン ーロスコ、ウォーホルから草間彌生、 バスキアまで 滋賀県立近代美術館 コレクションを中心に	12月14日（土） 1月11日（土）	44人 52人
森田恒友展 自然と共に生きて行かう	2月29日（土） 3月14日（土）	中止※ 中止※ ※臨時休館のため

### 3 美術作品収集事業

◆寄贈 令和元年度は、26点を寄贈により収集した。

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(H×W×D)(cm)	収集方針	評価額(円)
1	日本画	大野百樹	秋韻	1968年	彩色、紙	182.5×227.5	1	4,800,000
2	日本画	大野百樹	雪の旭岳	2005年	彩色、紙	223.0×179.0	1	4,800,000
3	日本画	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	彩色、紙	21.1×18.0	1	100,000
4	日本画	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	彩色、絹	21.1×18.0	1	100,000
5	日本画	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	水墨、淡彩、紙	21.1×18.0	1	100,000
6	日本画	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	彩色、紙	21.1×18.0	1	100,000
7	日本画	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	彩色、紙	21.1×18.0	1	100,000
8	日本画	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	墨、淡彩、紙	21.1×18.0	1	100,000
9	日本画	森田恒友	水郷図(春)	1932(昭和7)年	彩色、紙	各41.5×93.5	1	1,700,000
10	日本画	森田恒友	水郷図(冬)	1932(昭和7)年	彩色、紙	各41.5×93.5	1	1,700,000
11	日本画	森田恒友	山色新	1928(昭和3)年	彩色、紙	51.2×23.0(扇面)	1	200,000
12	ドローイング	森田恒友	作品名不詳	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	23.2×32.5	1	400,000
13	日本画	倉田白羊	作品名不詳	1917(大正6)年	彩色、布	33.7×21.6	1	200,000
14	ドローイング	倉田白羊	瓦やき	制作年不詳	墨、紙	18.6×17.1(紙寸) 17.1×11.2(イメージ寸)	1	150,000
15	ドローイング	倉田白羊	《小笠原島》下絵	1914(大正3)年	水彩、鉛筆、紙	16.8×35.0(台紙寸)	1	400,000
16	ドローイング	倉田白羊	作品名不詳	制作年不詳	水彩、コンテ、紙	24.9×32.8	1	400,000
17	ドローイング	倉田白羊	作品名不詳	1924(大正13)年	鉛筆、コンテ、紙	29.6×42.3(紙寸) 24.3×32.6(イメージ寸)	1	200,000
18	油彩画	田中保	花瓶のある横顔	1926(大正16/昭和元)年頃	油彩、ボード	46.0×32.5	1	1,800,000
19	油彩画	田中保	花	1926(大正16/昭和元)年頃	油彩、カンヴァス	45.5×33.0	1	1,500,000
20	油彩画	田中保	猫	1920-30年	油彩、ボード	56.2×43.0	1	1,500,000
21	油彩画	末松正樹	貞子像	1950(昭和25)年	油彩、カンヴァス	58.5×49.5(額寸) 39.0×30.0(画面)	2	1,500,000
22	油彩画	末松正樹	作品名不詳	制作年不詳	油彩、カンヴァス	66.0×81.5(額寸)	2	1,700,000
23	油彩画	末松正樹	作品名不詳	1959(昭和34)年	油彩、カンヴァス	70.5×58.0(額寸)	2	1,500,000
24	ドローイング	末松正樹	ドローイング 一式(50点)	1944-48(昭和19-23)年	紙、鉛筆ほか	各25.0×30.0程度(紙寸)	2	7,150,000
25	ドローイング	清水晃	S字型(スケッチブック)	1963(昭和38)年～	鉛筆、色鉛筆、水彩、紙	スケッチブック・F4サイズ…表紙:34.0×24.8、紙寸法:33.3×24.2	1	540,000
26	資料Ⅱ	瑛九	瑛九関連資料(瑛九「田園」展ポスター)	1975(昭和50)年	印刷、シルクスクリーン、紙	94.0×63.7	1	10,000
※ 収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品							合計	32,750,000

備考: 1と2については、昨年度美術資料選考評価委員会で審議済だったが、受入手続中に寄贈申請者が逝去したため、今年度に申請者を変更して、作品を受け入れた。

◆寄託 令和元年度は、8点の作品の寄託を受けた。

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(H×W×D)(cm)	収集方針	評価額(円)
1	彫刻	成田克彦	SUMI	1968(昭和43)年	木	13.0×12.0×12.0	2	2,500,000
2	日本画	小倉遊亀	青梅	制作年不詳	彩色、紙	45.7×55.2	2	1,000,000
3	日本画	小倉遊亀	藤の花	制作年不詳	彩色、絹	131.1×42.4	2	1,500,000
4	日本画	杉山寧	木蓮	制作年不詳	彩色、絹	127.6×42.5	2	800,000
5	日本画	杉山寧	作品名不詳	制作年不詳	彩色、紙	41.5×52.0	2	500,000
6	日本画	児玉希望	夕月	制作年不詳	彩色、紙	42.2×45.2	2	500,000
7	日本画	児玉希望	作品名不詳	制作年不詳	彩色、絹	46.8×51.3	2	800,000
8	日本画	小茂田青樹	紅梅小禽	制作年不詳	彩色、絹	29.5×30.0	1	2,000,000
※ 収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品							合計	9,600,000

## 4 普及事業

### (1) 美術館講座の開催

美術および関連領域への理解を深めてもらうため、専門的なレクチャーを含むプログラムを開催する。昨年度から開講している「映像の可能性」の第3回を行う。

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

期 日	内 容	講 師	定員等
3月22日 ※中止	映像の可能性 第3回 「映像の断層／ 物質の残響」	(講師) 金村 修 小松浩子	・35人(予定) ・参加費 1,500円(予定)

### (2) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。

### (3) 広聴広報活動

ア 県民の多様な要望を美術館活動に反映させるため、1階エントランスロビーにアンケートコーナーを常設する他、MOMAS コレクション、企画展、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施する。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望の内容に応じて、随時回答を行う。

ウ 美術館広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国美術館等に配布する。

エ 美術館ホームページやTwitter、Facebook、YouTube を活用して、企画展やMOMAS コレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。

オ Google Arts & Culture に参加し、当館のコレクションやストリートビューを全世界に向けて発信する。

カ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR 東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出する。

キ 新聞、雑誌、テレビ、WEB 等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努める。

ク 県展開催期間に MOMAS コレクション観覧料割引サービスを実施する。

ケ 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行う。

コ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店内および与野本町駅ショッピングセンター内のデジタルサイネージに、美術館の情報を提供する。

サ ディスクユニオン北浦和店(中古レコード店)と提携し、展覧会観覧者に対する購入割引サービスを実施する。

## 5 美術館の利用促進事業

### (1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施する。

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
令和元年 6月 1日(土)	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	—	500人

### (2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんやよちよち歩きのお子様と一緒に展覧会をゆっくりご覧いただけるよう、MOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。(2回)

期 日	内 容	参加者数
令和元年 5月 16日(木)	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	22人
11月 7日(木)	〃	25人

## 6 子供向け事業

子供たちが美術に関心を抱き、積極的に美術館を利用するよう促すため、土曜日に「MOMASのとびら」として次の講座等を開催する。

各講座等は、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や「教育普及サポート・スタッフ」の協力を受けて実施する。アーティストを講師に招くこともある。

※令和元年度、2月29以降は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

### (1) 「みる+つくるMOMASコレクション」

MOMASコレクションや椅子のコレクション、建物などに焦点を当て、鑑賞をもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 5月25日	「見つけた色で光を描こう！！」 (ポール・シニャック《アニエールの河岸》をみて、点で風景を描く。)	30人	20人
9月28日	「くるくる！ぴよんぴよん！線の動きは…？」 (線による表現のおもしろさを感じて造形を楽しむ。)	〃	24人
11月23日	「大きくして“みる”世界は粒でできている！？」 (印刷物の4色の粒子に気づき、4色のスプレーで作品づくりを楽しむ。)	〃	28人
12月14日	「じわじわ楽しく描こう！」 (丸山直史《garden3》のにじみの技法を追体験して楽しむ。)	〃	23人

### (2) 「親子クルーズMOMASコレクション」

MOMASコレクションや椅子のコレクション、建物などを親子で巡り、鑑賞をもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 6月22日	「1枚の板から椅子ができた」 (1枚のデコパネを無駄なく使いミニチュア椅子をつくる。)	15組	20人
9月14日	「HALF! and HALF! わたしは誰でしょう？」 (親子で半分ずつお面を作り、合わせた時の表情や印象を楽しむ。)	〃	21人
11月 9日	「窓の向こうに見える世界—重なる時間—」 (親子それぞれ枠の中に好きな時間の世界を作り、重ねて楽しむ。)	〃	23人
令和2年 2月22日	「不思議な果実！君の中身はなんだろう？」 (果実がモチーフの作品を鑑賞後、「不思議な果実」の中身を作る。)	〃	18人

### (3) 「みる＋つくる企画展物語」

開催中の企画展への関心や興味を高めるため、展覧会の魅力やヒントをわかりやすく紹介しながら会場をまわり、その後に創作活動を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 5月11日	「伝えていきたいことチェア」 (伝えていきたいことを考え、ミニチュアの椅子を制作する。)	30人	29人
12月 7日	「☆変形キャンパス☆－自分だけのイメージで－」 (マスキングテープでできた模様の形に合わせてキャンパスを作る。)	〃	23人
令和2年 3月 7日	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。	〃	－

### (4) 「親子クルーズ企画展物語」

企画展示室を親子でまわり、鑑賞をもとにした制作を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 4月27日	「願いを込めて☆親子の椅子」ブラジルの椅子展 (親子の願いを込めたミニチュア椅子をつくる。)	15組	30人
10月12日	『DECODEせよ！「もしも」の地球！』 (関根伸夫《位相－大地1》の資料をみて、自分が考える地球をつくる。) ※台風のため中止。	〃	－
令和2年 1月11日	「みないで…？みて…！手で感じるカタチ！」 (目隠しをして触覚を研ぎ澄ませて粘土造形を楽しむ。)	〃	31人

### (5) 「み～つけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 6月15日	「MOMASでみつけよう！いろ・イロ・色！」 (美術館を探検して色をたくさん見つけ、色が重なる楽しさを体験する。)	15組	27人
7月13日	「キラキラ枢機卿に大変身！」 (紙のマントと烏帽子に模様を描いてまとい、枢機卿になりきる。)	〃	34人
10月19日	「MOMASで紙の上の運動会！」 (美術館で見つけた形や線をもとに、リボンなどを転がして造形を楽しむ。)	〃	33人
令和2年 3月14日	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。	〃	－



## (6) 「工房」

美術館ならではの制作活動を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 6月 8日	「まるまるあなただけのランプシェードをつくろう！」 (パンチで穴を開け、まるみのあるランプシェードを作る。)	30人	30人
7月20日	「マイ美術館コレクションをつくろう！」 (スチレンボードを使って、大切なものを飾る美術館を作る。)	〃	32人
令和2年 1月18日	「君は見つけられるかな？～展示室の秘密～」 (展示の仕方に注目し、美術館に親しみをもつ。)	〃	29人
2月 8日	「化石発掘★簡単鑄造で古代の生き物をつくろう！」 (オアシスや錫を使った簡易的な鑄造体験を楽しむ。)	〃	27人
3月21日	※新型コロナウイルス感染症対策のため中止。	〃	—

## (7) 「アート★ビンゴ」

受付で参加証とビンゴシートをもらい、自分で館内を回りながらクイズに挑戦する。

期 日	定 員	参加者数
平成31年 4月 6日	なし	69人
令和元年 7月27日	〃	69人
10月26日	〃	67人
12月21日	〃	41人
平成2年 2月15日	〃	117人

## (8) 「わくわく鑑賞ツアー」

スタッフと対話による鑑賞をしながら美術館を巡り、美術作品の鑑賞を楽しむ。

期 日	定 員	参加者数
平成31年 4月13日	なし	93人
令和元年10月 5日	〃	50人
11月 2日	〃	32人
令和2年 2月29日	〃	—

※令和2年2月29日は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

## (9) 「彫刻あらいぐま」 彫刻ボランティアが講師として活動。

北浦和公園内の彫刻作品を親子で洗って、鑑賞する。(2回)

期 日	定 員	参加者数
令和元年 5月18日	15組	28人
9月21日	〃	23人

### (10) 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも参加できるプログラムを実施する。(5回)

期 日	定 員	参加者数
平成31年 4月20日	なし	109人
令和元年 5月 4日	〃	395人
7月 6日	〃	97人
9月 7日	〃	188人
令和2年 1月25日	〃	144人

### (11) 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。(4回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年 8月 3日	フリープログラムDAY (午前と午後、フリープログラムを実施。)	なし	371人
8月10日	『アーティストから「カタチの挑戦状が届く！ ～カタチの言葉で対話しよう～』 (アーティストにもらう手がかりからイメージを広げて、作品をつくる。)	30人	30人
8月17日	「もう一人の自分、私の影は何色？」 (自分の影を写しとって、パステルで色を重ねてぬる。)	20組	37人
8月24日	「MOMASでヘアメイクアップアーティストになろう！」 (企画展「May I Start?計良宏文の越境するヘアメイク」をみて、ヘアスタイルの造形を楽しむ。)	30人	18人

### (12) 「もますまつり」

県民の日に、フリー参加のプログラムを行う。(1回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年11月14日	「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「風を描こう！」 「リキシャカメラ登場！」	なし	741人

### (13) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行う。

※小中学校の夏休み期間に合わせて休館日をのぞき毎日開催 (7/20～8/25)

### (14) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する。(3回程度。各回午前中の30分間。)

第1回 8月 8日 (参加者数51人) 第3回 8月21日 (参加者数22人)

第2回 8月16日 (参加者数51人)

## 7 学校との連携

学校の積極的な美術館活用や鑑賞教育のあり方等を探るため、博学連携に取り組む。

### (1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

※令和元年度、第2回の講座は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和元年8月22日	「カラダで・うごいて、みる・アート！」	30名	14人
令和2年3月27日	「右脳で描く！クレパス画」(中止)	〃	—

### (2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらう。

### (3) 博物館実習生の受け入れ

### (4) 団体見学の受け入れ(随時実施)

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行っている。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」を見てみよう！
- ② 2階展示室「企画展」を見てみよう！
- ③ かならず出会える作品たち(野外彫刻)を見てみよう！
- ④ グッドデザインの椅子たちに座ってみよう！
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう」
- ⑥ アート・カードで楽しもう！
- ⑦ バックヤード見学

### (5) 学校への授業協力(随時実施)

### (6) 学校への複製画、鑑賞プログラムの貸し出し(随時実施)

### (7) 研修協力(随時実施)

### (8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、博学連携の強化・継続を図るため、県内の学校に当館収蔵作家をはじめ、アーティストと共に学校に出向き、美術への関心と理解を深める体験授業を展開する。令和元年度は2校で実施した。

### (9) 公募プログラム「カラダで・みる、うごいて・みる！」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、博学連携の強化・継続を図るため、県内の学校を対象とした公募プログラムを実施する。令和元年度は第2回を開催した。

## 8 一般向け団体案内

グループで来館する一般利用者の希望に応じて、企画展の見どころ紹介や美術入門講座等を行う。

また、視覚障がい者を対象としたガイドも行う。

## 9 ボランティア活動の統括

### (1) 美術館サポーター

「MOMAS コレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが1階展示室内において作品解説を行う。

美術館サポーターは、常設展の解説ガイドを行うボランティアとして、平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修などを重ね、質の高い解説で好評を博している。

### (2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心を持つ学生等が参加し、毎年6月中旬から7月初めまでに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行う。（R1年度 新規37名、継続50名、合計87名）

### (3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、彫刻ボランティアは土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」において、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。洗浄プログラムは、春（5/18）と秋（9/21）の2回実施した。

## 10 「椅子」の有効活用

国内外のグッドデザインの椅子を、入館者に自由に座って楽しんでもらう。

これらの椅子は、MOMAS コレクションや企画展の展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、常時20脚から30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介する。

また、学校への授業協力や「MOMASのとびら」プログラムでも活用する。

11 一般展示室の利用状況

No.	展覧会名	開催期間 R1年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	ともにあるく	4月2日	4月7日	6	4	創作人形	23	405	67
2	群炎埼玉支部展	4月9日	4月14日	6	2	水彩、油彩、彫刻、工芸、写真、創作人形	56	531	88
3	第10回関口健司展	4月9日	4月14日	6	3	水彩	44	312	52
4	第29回溪水会展	4月9日	4月14日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画、墨彩画ほか	61	517	86
5	第35回記念さいたま蘭秀100選展	4月16日	4月21日	6	1	書	78	906	151
6	第13回フォト・トルトゥーガ写真展	4月16日	4月21日	6	2	写真	81	1,029	171
7	2019阿佐見昭彦写真展“秘やかな記憶IV”	4月16日	4月21日	6	3	写真	38	992	165
8	第13回彩ポタニカルアート展	4月16日	4月21日	6	4	水彩	42	586	97
9	浦和写真クラブ作品展	4月23日	4月28日	6	2	写真	78	1,643	273
10	第7回栗田ひさし、梨伽絵画二人展	4月23日	4月28日	6	3	日本画、水彩、色鉛筆	52	986	164
11	彩画会展	4月23日	4月28日	6	4	日本画、水彩、油彩	35	930	155
12	埼玉女流工芸展	4月25日	4月28日	4	1	工芸	169	1,304	326
13	埼玉二科展	4月30日	5月5日	6	1~4	油彩、彫刻、デザイン	150	1,325	220
14	第69回埼玉県美術展覧会(県展)	5月28日	6月19日	20	1~4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真	1,988	28,726	1,436
15	第38回埼玉県高等学校写真展	6月26日	6月30日	5	1	写真	1,068	1,344	268
16	さいたま市中央区美術家協会展	6月26日	6月30日	5	2	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸ほか	99	1,007	201
17	第38回キヤノンフォトクラブ浦和写真展	6月26日	6月30日	5	3	写真	35	645	129
18	創作50周年記念宮沢善三油絵展	6月26日	6月30日	5	4	油彩	40	423	84
19	埼玉独立展	7月2日	7月7日	6	1	油彩、アクリルほか	89	586	97
20	2019埼玉モダンアート展	7月2日	7月7日	6	2・3	水彩、油彩、版画、スペースアート	23	600	100
21	武蔵野美術大学卒業生会東京埼玉支部展	7月9日	7月14日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸ほか	104	1,315	219
22	第26回基の会展	7月9日	7月14日	6	2	油彩、アクリル	19	736	122
23	第32回白の会洋画展	7月9日	7月14日	6	3	油彩	22	684	114
24	第6回下落合フォトクラブ写真展(創立10周年記念)	7月9日	7月14日	6	4	写真	79	654	109
25	第46回埼玉二紀展	7月23日	7月28日	6	1~4	油彩、彫刻	103	1,392	232
26	新構造埼玉展	7月30日	8月4日	6	1	油彩、水彩、ドローイング、版画、彫刻ほか	95	1,049	174
27	第29回旺玄会埼玉支部展	7月30日	8月4日	6	3・4	水彩、油彩、日本画、版画、ミクストメディア	58	880	146
28	15周年記念水彩連盟埼玉西支部展	8月6日	8月11日	6	1	水彩	60	1,148	191
29	新井田宇謙木彫展「幻想のさわり心地、感受性の肉」	8月6日	8月11日	6	4	彫刻	14	874	145
30	第53回埼玉平和美術展	8月13日	8月18日	6	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	343	2,202	367
31	4人バラバラでもいっしょ展	8月20日	8月25日	6	2	水彩、油彩、版画、切り絵、アクリル画	115	870	145
32	ほうりきみわ写真展2019	8月20日	8月25日	6	4	写真	47	722	120
33	第33回墨芳展	8月21日	8月25日	5	1・3	書	119	824	164
34	ムサ美埼玉2019展	8月27日	9月1日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	120	963	160
35	現代中国芸術国際交流展	8月27日	9月1日	6	2	油彩、版画、水墨画	30	720	120
36	第19回写真サークル「観悠」作品展	8月27日	9月1日	6	3	写真	47	472	78
37	ヨシズミ トシオ展	8月27日	9月8日	12	4	油彩、ドローイング、版画、水墨画	39	1,171	97
38	第33回埼玉創元展	9月3日	9月8日	6	1	日本画、水彩、油彩、版画、アクリル画	90	1,005	167
39	第28回工芸新樹会公募展	9月3日	9月8日	6	2	工芸	52	779	129
40	第7回私の自然展	9月3日	9月8日	6	3	写真	51	626	104
41	第63回埼玉書道展	9月12日	9月15日	4	1~4	書	883	1,546	386
42	第36回埼玉県写真サロン	9月17日	9月22日	6	1	写真	531	1,190	198
43	フォト・サークル・オプト写真展	9月17日	9月22日	6	3	写真	129	914	152
44	tan tan tan の宝物~2019~	9月17日	9月22日	6	4	パステル、点描曼荼羅	192	396	66
45	第3回公募ZEN展	9月24日	9月29日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	185	946	157
46	フォトグループWAVE第33回写真展	9月24日	9月29日	6	3	写真	81	447	74
47	21th 2019 BANSEI EXHIBITION	9月24日	9月29日	6	4	インスタレーション	50	446	74
48	ART PHOTOGRAPHY ICHIE 2019展	10月1日	10月6日	6	1	写真	97	730	121
49	第35回アート現宇展	10月1日	10月6日	6	2	油彩、アクリル、コラージュ	47	520	86
50	第12回六甲長浜写真展 私の外遊日誌IV ベトナム編	10月1日	10月6日	6	3	写真	60	541	90
51	第52回第一美術協会埼玉支部展	10月8日	10月11日	4	1	水彩、油彩、版画、工芸ほか	169	861	215
52	第19回美術協会純展 埼玉支部展	10月8日	10月11日	4	2	水彩、油彩、ペン画	48	464	116
53	musa2 ムサ通 アート&デザイン展2019	10月8日	10月11日	4	3	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	40	460	115
54	第30回溪水会展	10月8日	10月11日	4	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画、墨彩画ほか	55	478	119
55	第31回全日中展・日中書画芸術大展	10月15日	10月20日	6	1~3	日本画、水彩、書、水墨画	360	1,222	203
56	ひととひと 個展	10月15日	10月20日	6	4	油彩	38	608	101

No.	展覧会名	開催期間 R1年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)	
		自	至							
57	太平洋埼玉展	10月22日	10月27日	6	1	水彩、油彩、版画	108	1,030	171	
58	埼玉三軌展	10月22日	10月27日	6	2	水彩、油彩	28	739	123	
59	全日写連浦和支部写真展	10月22日	10月27日	6	4	写真	45	608	101	
60	第20回地平展	10月29日	11月3日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	94	883	147	
61	悠友展	10月29日	11月3日	6	2・3	水彩、油彩	47	807	134	
62	西遊会展	10月29日	11月3日	6	4	水彩、油彩、版画	59	756	126	
63	2019CAFネビュラ展	11月6日	11月17日	11	1~4	日本画、油彩、版画、彫刻ほか	96	2,321	211	
64	第62回埼玉県高校美術展	11月20日	11月24日	5	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	826	2,357	471	
65	第58回埼玉県高等学校書道展	11月26日	12月1日	6	1~4	書	763	1,556	259	
66	パインツリーキルト教室作品展	12月3日	12月8日	6	3	パッチワーク	85	658	109	
67	第10回五彩展	12月3日	12月8日	6	4	水彩、油彩、ドローイング、和紙画ほか	55	777	129	
68	第10回埼玉県障害者アート企画展“knock art 10”	12月4日	12月8日	5	1・2	日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画ほか	479	1,584	316	
69	第53回全日本書道芸術展	12月10日	12月15日	6	1・2	書、墨象、ペン字、墨アート、デザイン書道	223	471	78	
70	吉田穂重作品展「埼玉の自然を描く」	12月10日	12月15日	6	3	油彩	18	693	115	
71	年歩む二人展	12月10日	12月15日	6	4	油彩、染絵	35	787	131	
72	池谷 世史己展	12月17日	12月22日	6	4	アクリル	14	344	57	
73	第23回凧の会展	1月7日	1月12日	6	1~4	油彩、彫刻、写真	177	699	116	
74	第44回埼玉書連役員新春展	1月14日	1月19日	6	1~4	書	267	1,018	169	
75	埼玉国展	1月21日	1月26日	6	1	油彩、写真	75	911	151	
76	猫とも新聞 猫×人写真展 第三回 猫がいてよかった	1月21日	1月26日	6	2	写真	116	744	124	
77	第10回ニコールクラブさいたま支部写真展	1月21日	1月26日	6	4	写真	63	919	153	
78	文教大学教育学部学校教育課程美術専修令和元年度卒業制作展	1月28日	2月2日	6	1	日本画、油彩、版画、彫刻、工芸、映像	132	655	109	
79	椿会 創作人形展	1月28日	2月2日	6	4	人形	120	813	135	
80	埼玉県美術系高等学校作品展・卒展	2月5日	2月9日	5	1~4	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	1,000	1,473	294	
81	野美展	2月11日	2月16日	6	2	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	57	688	114	
82	第16回ネーチャーフォト支部展示会	2月11日	2月16日	6	4	写真	95	1,100	183	
83	埼玉県小中学校等児童生徒美術展中央展	2月15日	2月16日	2	1	水彩、版画、彫刻、工芸	200	1,309	654	
84	埼玉大学教育学部卒業制作展／修了展／有志展覧会彩展	2月18日	2月23日	6	1	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	55	577	96	
85	第13回 彩の会	2月18日	2月23日	6	2~4	日本画、水彩、油彩、ドローイングほか	86	770	128	
86	ヨシズミ トシオ展	2月25日	2月28日	4	4	油彩、版画、水墨画、銅版画	41	204	17	
							合計	103,903人	434人	
県展除く							219日	県展除く	75,177人	343人

埼玉県立近代美術館 一般展示室利用状況（年度別）

令和2年3月31日現在

年度		一般展示室					備考
		1 (612.8㎡)	2 (231.5㎡)	3 (138.9㎡)	4 (161.3㎡)	計 (1,144㎡)	
11	利用可能週	50	50	50	50	200	112件
	利用週	48	49	49	50	196	
	利用率	96	98	98	100	98.0%	
12	利用可能週	49	49	49	49	196	104件
	利用週	46	47	48	49	190	
	利用率	93.9%	95.9%	98.0%	100%	96.9%	
13	利用可能週	26	26	26	26	104	56件
	利用週	26	26	26	26	104	
	利用率	100%	100%	100%	100%	100%	
14	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	47	49	47	50	193	
	利用率	92.2%	96.1%	92.2%	98.0%	94.6%	
15	利用可能週	51	51	51	51	204	105件
	利用週	43	49	47	51	190	
	利用率	84.3%	96.1%	92.2%	100.0%	93.1%	
16	利用可能週	51	51	51	51	204	106件
	利用週	47	48	50	51	196	
	利用率	92.2%	94.1%	98.0%	100.0%	96.1%	
17	利用可能週	51	51	51	51	204	91件
	利用週	46	50	50	48	194	
	利用率	90.2%	98.0%	98.0%	94.1%	95.1%	
18	利用可能週	51	51	51	51	204	93件
	利用週	47	48	50	49	194	
	利用率	92.2%	94.1%	98.0%	96.1%	95.1%	
19	利用可能週	51	51	51	51	204	97件
	利用週	50	48	50	51	199	
	利用率	98.0%	94.1%	98.0%	100%	97.5%	
20	利用可能週	51	51	51	51	204	106件
	利用週	51	50	49	50	200	
	利用率	100%	98.0%	96.1%	98.0%	98.0%	
21	利用可能週	51	51	51	51	204	103件
	利用週	48	45	50	51	194	
	利用率	94.1%	88.2%	98.0%	100%	95.1%	
22	利用可能週	52	52	52	52	208	102件
	利用週	48	48	48	48	192	
	利用率	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	
23	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	46	46	48	47	187	
	利用率	90.2%	90.2%	94.1%	92.2%	91.7%	
24	利用可能週	51	51	51	51	204	113件
	利用週	45	49	50	51	195	
	利用率	88.2%	96.1%	98.0%	100.0%	95.6%	
25	利用可能週	19	19	19	19	76	40件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
26	利用可能週	19	19	19	19	76	44件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
27	利用可能週	47	47	47	47	188	112件
	利用週	45	44	46	47	182	
	利用率	95.7%	93.6%	97.9%	100.0%	96.8%	
28	利用可能週	48	48	48	48	192	104件
	利用週	43	37	42	46	168	
	利用率	89.6%	77.1%	87.5%	95.8%	87.5%	
29	利用可能週	47	47	47	47	188	100件
	利用週	44	38	40	42	164	
	利用率	93.6%	80.9%	85.1%	89.4%	87.2%	
30	利用可能週	47	47	47	47	188	92件
	利用週	39	37	36	38	150	
	利用率	83.0%	78.7%	76.6%	80.9%	79.8%	
元	利用可能週	43	43	43	43	172	86件
	利用週	38	34	35	40	147	
	利用率	88.4%	79.1%	81.4%	93.0%	85.5%	
2	利用可能週	6	6	6	6	24	2件
	利用週	0	0	0	2	2	
	利用率	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%	

(※利用実績には県展を含む【R2を除く】)

# 令和元年度入館者数一覧

※令和2年2月29日からは臨時休館

	展 示 事 業						普 及 事 業					貸 館 事 業	
	入館者数	企 画 展 示					企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	SMFアート 関連	資料閲覧室	一 般 展示室	埼玉県美術 展覧会
		MOMAS コレクション	ブラジル先 住民の椅子	May I Start? 計良宏文の 越境するヘア メイク	DECODE/ 出来事と記録 — ポスト工業化 社会の美術	ニューヨーク ・アートシーン							
開 催 期 間	4/2(火) ～ 2/28(金)	4/6(土) ～ 5/19(日)	7/6(土) ～ 9/1(日)	9/14(火) ～ 11/4(月)	11/14(木) ～ 1/19(日)	2/1(土) ～ 2/28(金)	4/14(日) ほか	5/26(日) ほか	4/9(土) ほか	4/1(月) 2/28(金)	4/1(月) 2/28(金)	5/29(水) ～ 6/20(木)	
日 (日)数	282	40	52	46	52	25	23	8	40	281	219	20	
観 覧 者 数 利 用 者 数	210,761	5,529	8,902	4,202	10,659	2,742	1,436	142	3,265	2,487	75,177	28,726	
1 日 当 た り 平 均	747	138	171	91	204	109	62	18	82	9	343	1,436	
有 料	一般個人	8,258	2,487	2,834	1,441	1,291							
	一般団体	1,607	286	334	223	404							
	大高個人	615	145	366	167	420	-	-	-	-	-	-	
	大高団体	24	8	573	1	6							
(人)計	10,504	2,926	4,107	1,832	5,651	1,437							
無 料	24,960	2,603	4,795	2,370	5,008	1,305							

## 月別入館者数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入 館 者 数 (人)	17,613	21,126	30,585	15,195	20,958	17,281	16,163	23,692	14,136	15,833	18,179	0	210,761



## 令和元年度 決算の概要

(単位：千円)

事業名	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	残 額
企画展事業費	72,731	32.6%	72,731	34%	0
美術館管理運営費	78,372	35.1%	70,879	33%	7,493
博物館・美術館 オリパラプロジェクト 埼玉アート！未来発信事業	1,185	0.5%	1,103	1%	82
教育財産管理費	11,588	5.2%	11,588	5%	0
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	59,352	26.6%	58,453	27%	899
合 計	223,228	100%	214,754	100%	8,474

(収 入)

(単位：千円)

区 分	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観 覧 料 収 入	18,549	8%	17,973	8%	△ 576	-3%
一般展示室等使用料	13,548	6%	10,666	5%	△ 2,882	-21%
行政財産使用料	4,669	2%	4,728	2%	59	1%
図録等売払収入	4,418	2%	3,783	2%	△ 635	-14%
助 成 金	7,424	3%	2,424	1%	△ 5,000	-67%
そ の 他	2,245	1%	1,697	1%	△ 548	-24%
一 般 財 源	172,375	77%	173,483	81%	1,108	1%
合 計	223,228	100%	214,754	100%	△ 8,474	-4%

# 令和2年度 事業計画

## 1 常設展示事業

### (1) MOMAS コレクション（常設展）の開催

年度は4期に分け、多彩なテーマと切り口で収蔵作品を中心に一部借用作品も交えて企画性の高い展示を実施している。

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第1期	<p>○「セレクション」 印象派を代表する画家オーギュスト・ルノワールの《三人の浴女》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介する。</p> <p>○「特集：斎藤与里」 個性的な画風を追求し、美術評論でも足跡を残した加須市出身の洋画家・斎藤与里（1885－1959）。当館のコレクションを中心に紹介し、多面的な画業をひもとく。</p> <p>○「写真という欲望」 フォトグラムやコラージュ、絵画、資料などから「写真」というメディアを多層的に読み解く。</p>	76点	<p>自 令和2年 6月2日(火)</p> <p>至 7月12日(日)</p> <p>(35日間)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館により、開幕が遅延した。</p>	<p>2,589人 1日当たり 74人</p> <p>うち有料観覧者数 1,882人 1日当たり 54人</p>
第2期	<p>○「セレクション」 ジョルジュ・ルオー《横向きのピエロ》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介する。</p> <p>○「異界／異形のコスモロジー」 もうひとつの世界なのか、それとも現実なのか。異界／異形と芸術表現の関係を探る。</p>	48点	<p>自 7月18日(土)</p> <p>至 10月18日(日)</p> <p>(82日間)</p>	<p>8月10日現在</p> <p>2,498人 1日当たり 119人</p> <p>うち有料観覧者数 1,807人 1日当たり 86人</p>

<p>第3期</p>	<p>○「セレクション」 エコール・ド・パリの画家マルク・シャガールの《二つの花束》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介する。</p> <p>○「花鳥を描く」 吉祥画題として、あるいは身近なモチーフとして描かれる花鳥について、日本画、工芸等の作品で紹介する。</p> <p>○「アーティスト・プロジェクト#2.05 スクリプカリウ落合安奈 Blessing beyond the borders—越境する祝福—」 ある時代を生きる無名の人々、あるいは土地が引き継ぐ記憶や文化に焦点を当て、重層的なイメージをもつ作品を構築するアーティスト、スクリプカリウ落合安奈。アーティスト・プロジェクト#2.05では、各地のフィールドワークにもとづいた最新のインスタレーションを発表する。</p>	<p>一点  (アーティスト・プロジェクト：一点)</p>	<p>自 10月24日(土)  至 令和3年 2月7日(日)  (87日間)</p>	<p>—1日当たり —人  うち有料観覧者数 —人 1日当たり —人</p>
<p>第4期</p>	<p>○「セレクション」 MOMASコレクションの名品を紹介する。</p> <p>○「『MOMASのとびら』のむこうがわ」 アート体験型ワークショップ『MOMASのとびら』で発見されたコレクションの新たな魅力を、これまでの活動の振り返りとともに紹介する。</p> <p>○「日本画の視点」</p> <p>○「リサーチ・プログラム：関根伸夫と環境美術」 埼玉県ゆかりの美術家で、《位相—大地》の制作者として知られる関根伸夫に関する資料展示を行う。</p>	<p>一点</p>	<p>自 2月13日(土) 至 4月18日(土) (56日間)</p>	<p>—人 1日当たり —人  うち有料観覧者数 —人 1日当たり —人</p>

## (2) サンデー・トークの開催

MOMAS コレクションおよび特別出品の展示作品から毎回1点を選び、学芸員による解説を実施する。新型コロナウイルス感染症対策のため、9月までは開催を中止。

## (3) 関連事業等の開催

「アーティスト・プロジェクト#2.05 スクリプカリウ落合安奈 Blessing beyond the borders－越境する祝福－」に因んだ関連事業を開催予定。

## 2 企画展示事業

### (1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年4回展示する。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、当初予定を変更して開催予定。今年度当初予定していた「桃源郷通行許可証」、「美男におわす」、「ボイス+パレルモ展」は来年度以降の開催を検討している。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数 (予定)
New Photographic Objects 写真と映像の物質性	現代の写真や映像という表現形態は、新しいテクノロジーから伝統的な手法までを複合的に駆使した意欲的な表現が次々に生まれるスリリングな領域です。この展覧会で紹介する4名と1組のアーティストは、メディアの物質性を重視した独自のアプローチによって、この分野に新機軸を打ち出しています。彼らの作品を「新しい写真的なオブジェクト」ととらえ、今日の写真表現・映像表現の可能性を探ります。	40 点	自 6月2日(火) 至 9月6日(日)  (84日間)	8月10日 現在  4,287人 1日当たり 71人  うち有料 観覧者数 3,031人 1日当たり 51人
MEDE SUWARU —今日みられる椅子	「椅子の美術館」としても知られる当館では、館内各所でグッドデザインの椅子を展示してきましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、当面の間座れる椅子の展示を制限しています。この展覧会では、実際に座る代わりに椅子をじっくり見る、つまり「目で座る」ことを通して、当館の椅子コレクションの魅力を多面的に紹介します。	約30点 (予定)	自 9月26日(土) 至 11月3日(火・祝)  (33日間)	2,700人

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者 見 込
上田 薫	<p>上田薫（1928－）は、写真を使って対象を精巧に描き出す画家です。作品の多くは、殻からつるりと落ちてくる生卵、スプーンから流れ落ちそうなジャム、水の流れや空など、一瞬で姿を変えるものをモチーフとしており、その清新な描写は、リアリズム絵画のなかに独自の位置を占めるものとして、高く評価されています。</p> <p>本展では、上田薫の歩みを、画業の基点となる1970年代半ばから現在までの作品約 80 点を中心にたどります。</p>	約 80 点 (予定)	自 11月14日 (土・県民の日) 至 1月11日 (月・祝)  (45日間)	5,850 人
コレクション 4つの水紋	<p>本展覧会では、新印象派の画家ポール・シニャックや埼玉ゆかりの日本画家奥原晴湖など、4作家の作品を中心に、幅広くコレクションを紹介します。それぞれの作家の生きた時代や確立した画風などの特徴をキーワードに、思いがけない作品同士の繋がりも提示し、4作家を起点として、豊かに展開するコレクションの多彩さを紹介します。</p>	約 80 点 (予定)	自 1月23日 (土) 至 3月21日 (日)  (50日間)	4,950 人

## (2) 関連事業等の開催

新型コロナウイルスの感染状況に考慮しながら、企画展ごとに感染症対策を講じた講演会、ミュージアム・コンサート等の実施を検討する。

### ア New Photographic Objects 写真と映像の物質性

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
8月15日 (土)	牧野貴 スクリーニング&トーク	牧野貴 (本展出品作家) 聞き手: 大浦周 (当館学芸員・本展企画者)、梅津元 (当館学芸員)	40人	—
8月22日 (土)	クロストーク	滝沢広 (本展出品作家) × 原田裕規 (美術家)	50人	—
8月29日 (土)	Nerhol ラウンドトーク	Nerhol (田中義久、飯田竜太) 鈴木俊晴 (豊田市美術館学芸員) 榊田倫広 (東京国立近代美術館主任研究員) 大浦周 (当館学芸員)	50人	—

## (3) ギャラリー・トークの開催

新型コロナウイルスの感染状況に考慮しながら、企画展ごとに感染症対策を講じた実施を検討する。

### 3 美術作品収集事業

本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を核とし、併せて現代美術の作品についても収集する。

### 4 普及事業

#### (1) ミュージアム・レクチャーの開催

令和元年度まで開催していた「美術館講座」に代わり、より多くの方々に美術および関連領域に親しんでもらうため、レクチャーを含むプログラムを開催予定。開催可能な時期も含め、新型コロナウイルス感染症対策を講じた実施を検討する。

期 日	内 容	定員等
未定	日本画に関すること (詳細は検討中)	・定員：内容等に応じて設定 ・参加費：無料

#### (2) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。  
※令和2年8月現在、新型コロナウイルス感染症対策のため休室中。

#### (3) 広聴広報活動

ア 県民の多様な要望を美術館活動に反映させるため、MOMAS コレクション、企画展、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施する。  
※令和2年8月現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、Web上の回答をお願いしている。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望の内容に応じて、随時回答を行う。

ウ 美術館広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国美術館等に配布する。

エ 美術館ホームページやTwitter、Facebook、YouTubeを活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。



オ Google Arts & Culture に参加し、当館のコレクションやストリートビューを全世界に向けて発信する。

カ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出する。

キ 新聞、雑誌、テレビ、WEB等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努める。

ク 県展開催期間に MOMAS コレクション観覧料割引サービスを実施する。  
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として県展中止のため未実施。

ケ 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行う。

コ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店内および与野本町駅ショッピングセンター内のデジタルサイネージに、美術館の情報を提供する。

サ ディスクユニオン北浦和店(中古レコード店)と提携し、展覧会観覧者に対する購入割引サービスを実施する。

## 5 美術館の利用促進事業

### (1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施する。

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
令和2年 6月6日(土)	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課 ※ 警察の判断で中止	北浦和公園	—	

### (2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんやよちよち歩きのお子様と一緒に展覧会をゆっくりご覧いただけるよう、MOMAS コレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。(2回)

期 日	内 容	参加者数
令和2年 5月13日(水)	※ 第1回は新型コロナウイルス感染症対策のため中止	—
10月7日(水)	※ 第2回は日程を含め未定	—

## 6 子供向け事業

子供たちが美術に関心を抱き、積極的に美術館を利用するよう促すため、土曜日に「MOMASのとびら」として次の講座等を開催する。

各講座等は、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や「教育普及サポート・スタッフ」の協力を受けて実施する。アーティストを講師に招くこともある。

※年度当初、新型コロナウイルス感染症対策のため8月までの中止を決定。

9月以降再開の場合、十分な対策を講じて実施できるよう内容・定員等の変更。その後、9月までの中止が決定。10月以降も未定。

### (1) 「みる+つくるMOMASコレクション」

MOMASコレクションや椅子のコレクション、建物などに焦点を当て、鑑賞をもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 5月23日	※中止	30人	—
7月 4日	※中止	〃	—
12月12日	— 未定 —	12人	—
令和3年 3月 6日	— 未定 —	〃	—

### (2) 「親子クルーズMOMASコレクション」

MOMASコレクションや椅子のコレクション、建物などを親子で巡り、鑑賞をもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 6月27日	※中止	15組	—
9月19日	※中止	6組	—
11月21日	— 未定 —	〃	—
令和3年 2月27日	— 未定 —	〃	—

### (3) 「みる+つくる企画展物語」

開催中の企画展への関心や興味を高めるため、展覧会の魅力やヒントをわかりやすく紹介して展示を鑑賞し、その後に創作活動を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 5月 9日	※中止	30人	—
10月10日	— 未定 —	12人	—
令和3年 1月 9日	— 未定 —	〃	—

### (4) 「親子クルーズ企画展物語」

企画展示室を親子でまわり、鑑賞をもとにした制作を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 9月 5日	※中止	6組	—
10月24日	— 未定 —	〃	—
12月 5日	— 未定 —	—	—

### (5) 「み～つけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 6月 6日	※中止	15組	—
7月11日	※中止	〃	—
11月 7日	— 未定 —	6組	—
令和3年 2月 6日	— 未定 —	〃	—

## (6) 「工房」

美術館ならではの制作活動を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 4月25日	※中止	30人	—
7月18日	※中止	〃	—
令和3年 1月23日	— 未定 —	12人	—
2月13日	— 未定 —	〃	—
3月13日	— 未定 —	〃	—

## (7) 「アート★ビンゴ」

受付で参加証とビンゴシートをもらい、自分で館内を回りながらクイズに挑戦する。

期 日	定 員	参加者数
令和2年 4月 4日 ※中止	なし	—
7月25日 ※中止	〃	—
10月17日	〃	—
12月19日	〃	—
平成3年 2月20日	〃	—

## (8) 「わくわく鑑賞ツアー」

スタッフと対話による鑑賞をしながら美術館を巡り、美術作品の鑑賞を楽しむ。

※令和2年8月現在、展示室内での会話はせず実施する方法を検討中。

期 日	定 員	参加者数
令和2年 4月11日 ※中止	なし	—
10月 3日	〃	—
11月28日	〃	—
令和3年 3月20日	〃	—

## (9) 「彫刻あらいぐま」 彫刻ボランティアが講師として活動。

北浦和公園内の彫刻作品を親子で洗って、鑑賞するプログラム。(今年度中止)

期 日	定 員	参加者数
令和2年 5月16日 ※中止	15組	—
9月12日 ※中止	5組	—

### (10) 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも参加できるプログラムを実施する。

期 日	定 員	参加者数
令和2年 4月18日 ※中止	なし	—
5月 2日 ※中止	〃	—
6月13日 ※中止	〃	—
9月26日	〃	—
令和3年 1月16日	〃	—

### (11) 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。(今年度中止)

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年 8月 1日	アーティスト開発好明氏によるプログラム	30人	—
8月 8日	フリープログラムDAY (午前と午後、フリープログラムを実施予定。)	なし	—
8月15日	アーティスト東 明氏によるプログラム	30人	—
8月22日	企画展関連プログラム	30人	—

### (12) 「もますまつり」

県民の日に、フリー参加のプログラムを行う。(1回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和2年11月14日	— 未定 — ※8月現在、接触のないプログラム実施を検討中。	なし	—

### (13) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行う。

※小中学校の夏休み期間に合わせて休館日をのぞき毎日開催(7/18~8/27)の予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、また公立・私立学校の夏休み短縮のため、中止。代わりに普及担当職員が相談に対応する日を掲示。その都度対応する。

#### (14) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する（3回程度。各回午前中の30分間。）予定だったが、「夏休みMOMASステーション」と同様の理由で中止。

### 7 学校との連携

学校の積極的な美術館活用や鑑賞教育のあり方等を探るため、博学連携に取り組む。

#### (1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

※令和2年8月現在、10月以降の開催を検討中。

期 日	内 容	定 員	参加者数
未定	「右脳で描く！クレパス画」（予定）	検討中	—

#### (2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらおう。

※令和2年度前期は、埼玉大学の学生とはオンライン授業、または密を避けた活動を行った。

他大学の学生の教育普及事業参加は見合わせている。

#### (3) 博物館実習生の受け入れ

#### (4) 学校による団体利用の受入（随時実施）

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行っている。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」を見てみよう！
- ② 2階展示室「企画展」を見てみよう！
- ③ かならず出会える作品たち（野外彫刻）を見てみよう！
- ④ グッドデザインの椅子たちに座ってみよう！ ※令和2年8月現在、実施不可
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう」 ※令和2年8月現在、実施不可
- ⑥ アート・カードで楽しもう！
- ⑦ バックヤード見学

#### (5) 学校への授業協力（随時実施）

#### (6) 学校への複製画、鑑賞プログラムの貸し出し（随時実施）

## (7) 研修協力（随時実施）

## (8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、博学連携の強化・継続を図るため、県内の学校に当館収蔵作家をはじめ、アーティストと共に学校に出向き、美術への関心と理解を深める体験授業を展開する。

※令和2年8月現在、実施の可否も含め調整中。

## (9) 公募プログラム「カラダで・みる、うごいて・みる！」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、博学連携の強化・継続を図るため、県内の学校を対象とした公募プログラムを実施する。令和2年度は第3回を開催する予定だったが、これまでの参加校が夏休みの部活等で取り組むことが多く、今年度の取組は困難であることが考えられたため中止。

## 8 一般向け団体案内

グループで来館する一般利用者の希望に応じて、企画展の見どころ紹介や美術入門講座等を行う。

また、視覚障がい者を対象としたガイドも行う。

## 9 ボランティア活動の統括

### (1) 美術館サポーターによる作品ガイド

「MOMASコレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが1階展示室内において作品解説を行う。

美術館サポーターは、常設展の解説ガイドを行うボランティアとして、平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修などを重ね、質の高い解説で好評を博している。

※令和2年8月現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、作品ガイドは休止。

### (2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心を持つ学生等が参加し、毎年6月中旬から7月初めまでに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行う。（R2年度 新規5名、継続60名、合計65名）

※令和2年8月現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、活動休止中。

### (3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、彫刻ボランティアは土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」において、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。洗浄プログラムは、春（5/16）と秋（9/12）の2回実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

## 10 「椅子」の有効活用

国内外のグッド・デザインの椅子を展示室内外に設置し、入館者に楽しんでもらう。

これらの椅子は、MOMAS コレクションや企画展の展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介する。

また、学校への授業協力や「MOMASのとびら」プログラムでも活用する。

※以前は館内に常時20脚から30脚を設置し、入館者に自由に座って楽しんでもらっていたが、令和2年8月現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、限定的に設置しており、座ることは不可としている。学校への授業協力、「MOMASのとびら」プログラムは、場合によっては椅子を選んで実施している。



# 11 一般展示室の利用状況

令和2年7月31日現在

No.	展覧会名	開催期間 R1年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	和洋悠久の軌跡作品展	6月24日	6月28日	5	4	油彩	27	82	16
2	Circle Fusion	6月30日	7月5日	6	4	油彩、アクリル	41	333	55
11日							合計	415人	37人

令和2年度入館者数一覧（令和2年7月31日現在）

	展示事業						普及事業					貸館事業	
	入館者数	企画展示					企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	SMFアート 関連	資料閲覧室	一般 展示室	貸館事業
		MOMAS コレクション	New Photographs Objects 写真と映像 の物質性	MEDE SUWARU -今日みられ る椅子	上田 薫	コレクション 4つの水紋							
開催期間	6/2(火) ～	6/2(火) ～	9/26(土) ～	11/14(土) ～	1/23(土) ～								
日 (日)数	51	51				51	0	0	0	0	11		中止
観覧者数 利用者数	10,231	3,407				3,407	0	0	0	0	415		中止
1日当たり 平均	200	66				66					37		
有料	一般個人	762	2,052										
	一般団体	127	116										
	大高個人	55	257										
	大高団体	0	0										
合計	944	2,425				2,425							
無料	-	982				982							

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数	0	0	4,595	5,636									10,231

## 令和2年度 当初予算の概要

(支 出)

(単位：千円)

年度 事業名	2年度 当初予算	割合 (%)	元年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
企画展事業費	72,833	37.7%	82,975	39.0%	△ 10,142	-12.2%
美術館管理運営費	68,837	35.6%	79,183	37.3%	△ 10,346	-13.1%
博物館・美術館 オリパラプロジェクト 埼玉アート！未来発信事業	1,125	0.6%	1,185	0.6%	△ 60	-5.1%
教育財産管理費	2,206	1.1%	1,350	0.6%	856	63.4%
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	48,365	25.0%	47,756	22.5%	609	1.3%
合 計	193,366	100.0%	212,449	100%	△ 19,083	-9.0%

(収 入)

(単位：千円)

年度 事業名	2年度 当初予算	割合 (%)	元年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観覧料収入	30,738	15.9%	30,906	14.6%	△ 168	-0.5%
一般展示室等使用料	13,670	7.1%	13,548	6.4%	122	0.9%
行政財産使用料	4,848	2.5%	4,669	2.2%	179	3.8%
図録等売払収入	9,491	4.9%	8,141	3.8%	1,350	16.6%
そ の 他	1,019	0.5%	1,137	0.5%	△ 118	-10.4%
一 般 財 源	133,600	69.1%	154,048	72.5%	△ 20,448	-13.3%
合 計	193,366	100.0%	212,449	100.1%	△ 19,083	-9.0%

埼玉県  
立近代  
美術館

The Museum of Modern Art, Saitama